

提出 順番	No. 12	平成 28 年 6 月 3 日 午前 午後 3 時 50 分受領
----------	-----------	-------------------------------------

平成28年 6月 3日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 谷 口 和 弥



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
防災力の強化で、高齢者など要配慮者にとっても安心して暮らせる町に	<p>今年4月14日と16日に熊本県で発生した震度7の大地震は、熊本県内のふたつの断層帯の活動によるものと発表されている。甚大な被害をもたらしただけでなく、現在でも余震は頻回に継続し、これまでの間に（5月24日まで）、震度1以上を観測する地震は熊本県・大分県において1,562回発生、そのうち最大震度3以上の地震が384回発生しているなど、避難所での生活さえも脅かされる状況との報道がされている。</p> <p>6月1日に熊本県災害対策本部が発表した被害状況等の速報によると、人的被害は震災関連死20人を含めて、死者は69人。住家被害は熊本県だけで12万棟以上、避難者数は171カ所の避難所に7,863人となっており、避難生活によるストレスや病気などの震災関連死により亡くなったとみられる人は20人に上っているとされている。</p> <p>十勝にも足寄から幕別町忠類まで南北に分布する「十勝平野断層帯主部」と、大樹から広尾に至る「光地園断層」があり、「平成28年熊本地震」は幕別町民ひとりひとりが、改めて災害の恐ろしさを確認する機会となったと思う。すでに幕別町では、5年前の東日本大震災を教訓に、「幕別町地域防災計画」に「減災の考え方を導入」、「地震編を地震・津波編に拡充」するなど、2度の一部修正を行ってきたところであるが、この「平成28年熊本地震」における被災地の教訓を取り入れるなど、さらに災害に強く、安全・安心に暮らせるまちづくりを推進していくことが必要と考える。</p> <p>ついては、以下の点について伺う。</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>①地域防災力の向上に関する計画の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公区や事業所などの自主防災組織の組織状況や、「平常時の活動」の取り組みに向けた状況を伺う。 ・ 自主防災組織の防災訓練の実施状況と、平成 27 年度から 5 年間計画で「幕別町地域自主防災訓練」が開始された。1 回目の訓練での状況や成果や教訓を伺う。 <p>②要配慮者・要援護者の安全を確保する取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「避難行動要支援者名簿」の作成の進捗状況と、避難場所の周知がどのように徹底されているのか伺う。 ・ 「防災協定」を 39 の相手方と結んでいるが、協定の内容や協定数が町民の実態に合わせて強化・検証していく考えがあるのか伺う。 <p>特に、3 法人と結んでいる「災害時における要援護者の緊急受入に関する協定書」では「可能な範囲で要援護者の受入をする」とされているが、どの程度の要援護者数の受入が見込まれる内容になっているのか伺う。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。